

(令和5)年度 呂 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(安井) 儿童館

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。

推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。

指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和5) 年度 児童館事業年間活動報告書

(京都市 安井) 児童館

△	活動名	実施回数	参加人数									内 容	成 果 と 課 題		
			小1～3年			小4～6年		中高生		ボランティア					
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ	大人	中高生	大学生	大人	合計				
子どもの家庭活動支援活動	(1) 乳幼児とその保護者を対象とする活動										0		・今年度の乳幼児クラブ登録は4月18日から行った。		
	・乳児クラブ	27回	223					223			0		・1歳児・乳児親子の登録は多く居場所となっていた。		
	・幼児クラブ(ラッコ組) (コアラ組)	27回	228					227			0		・人數制限がある中熱心に参加されていた。		
	・ほかほか広場	22回	139					135			0		・ニーズをくみ取り利用者の満足のいく活動の提供に努めた。		
	・あそびの広場	19回	143					139			0		・乳児クラブの中で1歳を過ぎたお子さんの広場デビューが目立った。		
	・ランチタイム	月～金									0		・安心できる楽しい時間の提供。月齢に合わせた色々な遊具を出す。		
	・親子バス遠足										0		・感染症対策・消毒活動等のため、安全のためランチタイム中止。		
	・親子遠足	1回	0					0			0		・感染対策のため中止。		
	・出前保育	2回	28					30			0		・お散歩パックにどんぐり拾いを企画していたが、当日雨天中止。		
	・特別講座	8回	70					70			0		・手あそび・体操・読み聞かせをしていただいた。		
家庭教育支援活動	・ウォーターパラダイス	-									0		・歯、絵本、お片付け講座等。		
	・乳児対象クリスマス会	1回	11					11			0		・今年度は感染症対策ためクラブ内で水遊びを実施。		
	・幼児対象クリスマス会	2回	17					17			0		・お母さんにも行事の楽しさを感じてもらえた。		
	・リーディングウィーク	10回	85					85			0		・リズムに合わせた楽器遊びでは親子一緒に楽しめた。		
	・登録説明会	1回	15					15			0		・自由遊びを通して異年齢の関わりが持てた。		
	・親子交通安全教室	-									0		・全体説明の時間を短くし館での遊びを体验してもらい満足していただけた。		
	(1) 家族参加を促す活動										0		・今年度は感染症対策のため中止。		
	・乳幼児運動会	3回	30					29			0		・昨年同様、短時間人数制限を設けておこなった。		
	・子育て講座	10回	78	9	1			87			0		・感染症対策をとりつつ、可能な内容でおこなった。		
	合 計		1244	9	0	1	0	0	1228	0	0	2482			
(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受理及び相談経路					件数		相談内容		件数	つないだ機関等		
	乳児	3	児童館にて直接受理					76		健全育成問題		50	児童相談所		
	幼児	14	児童相談所							家庭養育問題		2	保健所		
	小1～3年(自由来館)	0	保健所							成長・発達問題		11	子ども支援センター		
	小1～3年(学童)	58	子ども支援センター							教育問題		1	幼稚園・保育園		
	小4～6年(自由来館)		主任児童委員							非行・問題行動		2	小学校		
	小4～6年(学童)	2	その他							その他		11	中学校 総合支援学校 その他		
	中学生		{ 小学校 他館 }					1		{ 転居相談 母の相談 }			{ 放課後デイサービス }		
	高校生														
	件数 計	77	-					77		-		77	-		
(4) 子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活動内容							育成・支援内容		成果と課題			
	Big Family	25	・虫よけアロマスプレーづくり・風船すいか割り ・警察見学 ・ハロウィンパーティ ・節分あそび ・毎月のコミュニティーリー回収と「ゆずります・もらいます」の実施							・準備・片付け等の補助		・魅力的な活動により、新規の参加者にエコの取組をアピールする良い機会となった。			
			・スクラップブッキング ・新年カルタ大会 ・エコありがとうございます抽選会							・内容の決定、募集、広報活動		・エコ回収の意識も徐々に広がり、沢山の方がご協力して下さるようになった。			
										・メンバーの入れ替わりが今後も円滑に進むよう支援したい。		・メンバーや運営者からの協力もあった。			
										・児童館だよりへの掲載、土曜日回収の実施等により、小学生の保護者からの協力もあった。		・6月より月毎に回収内容が変更となる。(奇数月：子ども服のみ・偶数月：従来通り)			
推進活動	活動名	実施回数	活動内容									成果と課題			
	「家庭ごみ有料指定袋引換券」の配布	11	・新生児を養育する保護者を対象に、児童館において家庭ごみ有料指定袋の無償配布をおこなう。 ・1人で子育てに苦しんでおられないかを観察し、会話の中から子育て支援につなげる。									・引き換えに来られた際に、おたより等を配布し児童館の案内ができ利用につながった。			
												・来館された親子に積極的に有料ごみ袋の配布ができるることをお声掛けした。			
												・身近な場所で配布いただけることを喜んでおられた。			

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動) (2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

令和5年度 児童館事業年間活動報告書

京都市安井児童館

水部市実行委員会														
地域福祉促進機能	活動名	実施回数	主 催	乳幼児		小1~3年		小4~6年		中高生	大人	合計	連携団体	成果と課題
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
(1) 地域住民との交流を促進する活動	安井ふれあい広場	1	学区社会福祉協議会							0	学区内16団体	中止		
	安井児童館まつり1部	1	児童館	5	2	49	4	6	0	4	70	小学校PTA	ふれあい会館で第1部むむの子の人形劇と光る影絵を観る。中高生の参加が課題。	
	安井児童館まつり2部	1	児童館	14	55		25		1	60	155	児童館保護者会 母親クラブ	第2部お店屋さん・工作・あそびコーナー実施。母親クラブの積極的な参加が課題。	
	新年おたのしみ会	2	児童館	14						14	28	乳幼児親子祖父母等	近隣の高齢者の参加が課題	
	合 計	5	—	33	57	49	29	6	1	78	253			
(2)ボランティア活動の促進	活動 内 容		活 動 人 数				成 果 と 課 題							
			中高生	大学生	大人	合計								
	・日常の児童館活動の参加		3	0	1	4	・コロナ禍を経て、大学生ボランティアの参加が減少							
	・学習タイム		0	24	0	24	・大学生ボランティアの参加							
	・クラブ活動等の参加		0	0	31	31	・将棋タイムで将棋の指導。お話を語る会の方にお話をしていただいた。子どもたちも楽しみにしている。							
(3) 地域との連携を促進する活動	連 携 团 体 等	連 携 内 容				成 果 と 課 題								
	地域自治連合会 社会福祉協議会	児童館の運営委員として地域の7団体長に入っている。また、地域子ども見守り隊にメンバーとして加わり、週1回1~2名の職員や運営委員が参加している。				コロナ禍を経て地域と連携をとる機会が減った。 地域としてもかかわりが希薄となることを懸念されている。								

令和5年度

児童館事業年間活動報告書

京都市安井 児童館

		組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	会議／取組内容	成果と課題			
基本活動 地域 福祉 促進 機 能 活 動	(4)児童館を支える 地域組織づくり	児童館運営委員会	・学区社会福祉協議会会长 ・自治連合会会长 ・小学校校長 ・交通推進会会长 ・少年補導委員会会长 ・民生委員協議会会长 ・主任児童委員 ・小学校PTA会長 ・中学校地域委員会委員長	定例2回 その他、議題があれば随時行う (子育て家庭の様子 情報共有・学童クラブ 申請審査等)	・年間計画 ・年間活動の総括審議 ・予算・決算 ・学童クラブ申請審査 ・児童館運営について ・新制度について ・ステーションについて ・情報交流 ・ポイント制について	・運営委員会は地域主要団 体の長によって構成されてい るため、地域と児童館は自然 な形で連携できる。地域の状 況は共有できるシステムと なっている。 課題については全員に館 運営に積極的にかかわって もらうことである。			
会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)		成果と課題			
(5)地域への施設 提供	・育成室 ・事務室 ・備品持ち出し ・遊戯室・育成室	・学童クラブ保護者会の準備 ・学童クラブ文集の作成 ・学童クラブ保護者会の 事務局 ・安井ふれあいまつり ・Big family話し合い	・学童クラブ保護者会 ・民生児童委員 ・社会福祉協議会 ・子育てサークルBig family	・施設等を積極的に地域に開放すべきである。 児童館はサポート役に徹するのが難しい。 ・サロンクリスマス会参加申し込み受付 中止 ・子育ての仲間づくりに繋がった。	成果と課題				
					成果と課題				
(3)地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題			
	・乳幼児対象 事業アンケート ・学童事業に ついて子ども アンケート	乳幼児親子の 意見や要望を 把握し、運営 に反映 子どもの意見 反映	乳幼児保護者 学童クラブ児 童	児童館担当 学童クラブ担 当	質問用紙配布調査 記述後回収 館内に結果掲示 質問用紙配布調査 記述後回収 館内に結果掲示 アプリメッセージ掲載	乳幼児親子の意見要望を把握し、次年度の事業に反 映させる予定。 子どもたちの考えていることを知ることができた。事業 内容や方法を見直す参考となった。			

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広報活動動	児童館だより	月1回	安井小学校児童・教職員全員 幼児クラブ登録車・自由来館 児童館運営委員 右京はぐくみ室	学校経由クラス単位で児童全員に配布 来館時に手渡し 各委員に配布	A4 1枚 1面は保護者・地域・利用者向け。2面は子ども向けの諸案内 ・月間予定 ・乳幼児クラブ予定 ・前月の行事等報告 ・子育て講座の案内 ・諸行事についてのお知らせ	児童館だよりは自由来館者をはじめ、乳幼児をもつ保護者などへの基本的な情報源となっている。 乳幼児来館親子は、配布用のおたよりやホームページに掲載しているおたよりに丁寧に目を通している様子。
	行事告知 チラシ	随時	安井小学校児童 来館者 放課後まなび教室	掲示板掲示・必要児童全員に配布	・行事の参加手続等	諸行事毎にたよりや案内プリントを作成配布している。案内プリントだけでは定員に達する参加者が確保できる。効果的な広報は口コミである。児童館活動を地域に広く知つてもらう点では文書やホームページ掲載を重視しなければならない。
	幼児クラブだより (お知らせ)	随時	幼児クラブ保護者 来館者	来館時に手渡し・ホームページ掲載	・学童クラブ児童の様子や行事のお知らせ等	学童クラブ保護者への情報発信となっている。 おたよりを活用できていない家庭があることが課題であり、児童に対し繰り返し具体的に指導している。
	学童クラブだより	月1回	学童クラブ保護者 児童館運営委員会	児童を通して持ち帰り 来館時に手渡し	・児童館・地域子育て関係機関の情報を掲載	回覧を見ての問い合わせがあり、一定効果がある。
	地域子育て支援ステーションだより	4カ月に1回	地域(安井小学校区)	町内会町内組単位で回覧	・児童館事業についての啓発	指定袋配布事業で受取時に事業について説明をし、それがきっかけで児童館利用につながった。
	その他(指定袋引換時の保護者への案内資料)	来館時			・ステーション事業に位置付け実施している主に乳幼児関係事業の案内	発行は子ども支援センターである。近隣におけるおたよりを見て参加者がかなりある。効果的な広報手段である。
	右京子ども支援センターだより	月1回	地域や右京区全体	毎月数千部発行し関係機関などに設置	・行事内容など	おたよりや行事を掲載を見て参加があつた
	ホームページ	月1回	来館者	ブラウザネット検索		

令和5年度 学童クラブ事業年間活動報告書

京都市安井児童館<様式11-1>

活動の基本目標(指針)	主な取組名	成果と課題
生活援助機能	安全・衛生の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・集団帰宅指導の実施 ・集団帰宅ができるように班分けをする ・職員の同伴による集団帰宅指導 ・学校からの帰館時間を厳守させ所在確認をする ・地域と連携し学校から館までの安全確保に努める ・トイレの正しい使い方を指導
	健康の管理・情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、消毒、せきエチケット、マスク装着の励行 ・学校の長期休業中や土曜日等において昼食後に休息時間を確保する ・あいさつの励行 ・帰館後宿題を先にする習慣を付ける ・8時半～10時の間は学習タイムとして習慣付ける ・遊具の扱い方を指導し、後片付けを習慣付ける ・個人の持ち物の整理整頓 ・自分たちの力で問題解決できるよう援助する
	基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・4月上旬は5時帰りの1年生には自宅まで帰宅指導を行い年間を通じ班ごとに職員が引率する。 一緒に歩くことにより、交差点など危険箇所の把握ができ具体的な指導ができた。 ・集団帰宅は、各班に職員等が同伴した。そのため安全確保ができた。 ・帰り班の中で、違う道を通ったり走っている班があり、個別・全体指導の後、保護者へ連絡をして情報を共有した。 ・学校との連携をとり、所在確認をスムーズに行うことができた。 特定の子の中には居残り勉強をして、お帰りの会のギリギリになることもあった。 ・男子トイレに飛び散りがあるのでトイレの指導は繰り返し行った。今後も汚さないよう使用することは課題である。 今後も定期的な指導を重ねることで引き続き定着させてていきたい。 ・マスクの装着(咳が出るとき)、手洗い、消毒の習慣化はできた。ハンカチ持参は徹底できた。 ・夏休み中、遊戲室で昼寝を行った。食後休息時間を一定確保することで、体力の回復とケガの防止につながった。 次年度も継続して昼寝の時間を設定したい。また高学年の取組ができたことは有効であった。 ・宿題の取組みは意欲に個人差があるが概ね定着してきた。特に1年生は、おやつ後すぐに取組む習慣がつけられた。 保護者の意向もそれぞれ違うので、連絡を密にして個別に指導していかたい。 ・3年生の声掛けで行動し、静かに学習する習慣がついた。学習内容については個人差が大きいが、より充実するよう支援したい。(ワークの持参などの声掛け) ・落し物は時々あるが、その日のうちに持ち主が分かるように今後も指導を続けたい。記名の徹底を行う。 ・お互いに譲り合う心を持つこと、自分の思いを伝えあうことで、問題解決することが出来るようになりつつある。 1年生の一部には、職員の助けが必要な子もいる。支援することで思いを伝えあうことが出来るようになってきた。
	社会生活技術の獲得	
子ども育成機能	生活体験の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・館外活動の実施 ・将棋タイム・お話ダンボなど外部からの指導で刺激をいただいて幅広い経験をする ・放課後まなび教室との合同行事の実施(転がしドッジ) ・誕生日会や帰りの会などの機会にさまざまな話をしている ・新1年生を迎える、3年生を送るなど区切りとなる機会に仲間の成長を祝う活動を行う
	社会性の養成	<ul style="list-style-type: none"> ・館外活動をおこなった。学校代休日に徒步でしっかり歩いて公園へお出かけした。 ・館内では、手作りおやつ(カップケーキ)やクルクルレインボーを作った。 ・今後も社会性・自主性・協調性を育てるために、館内外活動の機会を増やし内容の充実を図りたい。 ・まなびとのコラボは、地域や他児童と交流する機会となった。元学童児の参加の成長を知ることができた。 ・その後抱えている課題について繰り返し話をしていた。話を聞く姿勢は徐々にできてきた。 実践では難しい場面も見られたが、日常的に話すことや経験を重ねることで社会性を育んでいきたい。 ・「良いところ見つけ」の発表のためお友達のことをよく見て知ろうとの思いが強くなった。 ・役割と出番をつくることにより意欲を引き出すことができた。個人差はあるが今後も仲間団体を意識できるような活動を継続していきたい。協力して当番活動をやり遂げる姿が見られた。 ・準備や後片付けなどをグループ単位で行った。自主性には個人差があったが3年生の影響から後半は1・2年生にも自覚がみられるようになった。特定の子だけが片付けをすることがないよう、配慮・声掛けした。 ・コツコツ練習を重ね、楽しんで会を盛り上げる事ができた。高学年の参加は皆に刺激になった。 ・人の話を聞いたり自ら発言する力の育成に繋がった。 ・今後発言内容が充実するようさらに支援を続けたい。 ・役割を楽しみながら担うことができた。会議時間の確保が難しく、じっくりと会議がもてないことが難点だが意欲を生かした取り組みを継続させたい。(長期休業やおやつ時間等の活用)
	自立の促進と自主性の尊重	
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者懇談会の開催 ・学童クラブだよりの発行 ・連絡帳の活用 ・保護者と接する機会、対話による情報交換
	子育ての仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者も参加できる行事(夏のお楽しみ会、入会のつどい、修了式等)の設定 ・保護者会 ・地域との連携
	子育てを支えるネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携
		<ul style="list-style-type: none"> ・個人懇談では、ご家庭や学校での様子も聞くことができた。 ・お願いしたいことや子どもの様子を掲載し、保護者との共通認識を持つことができた。 ・1月の保護者会では、写真のスライドショーを行っていることは好評。 ・児童館で指導した事やケガのことなど、保護者にお伝えするときは、丁寧にお伝えするよう努めた。 ・修了式や入会のつどい、その他の行事への参加を促し、共に子育てをしているという意識を共有できるような取組みを行いたい。行事への保護者の協力は、年度当初にまとめてお願いすることことで全員参加していただけた。 ・今年度も行事への保護者参加は1名に限定したが、保護者参加の機会には保護者との会話を心掛けた。 ・今後も役割と出番のある活動を取り組むことで仲間作りを支援したい。 ・それぞれの立場を踏まえた協力関係を築いてきた。今後も信頼関係の構築を大切にしたい。 ・学校からの帰館時、子どもたちの見守りの参加は職員体制の都合で受けないこともあり、運営委員さんにご協力いただいた。 ・学童クラブへの理解が促進され地域とのネットワーク形成につながるので体制の整う次年度は実行していきたい。 ・放課後まなび教室との合同行事を実施した。沢山の参加があった。 ・おたよりの交換や居残り学習等、日常的に各担任と情報交換を行っている。 ・子どもの多角的な把握や課題の解決に役立っている。 (運動場使用時のお願い、児童・保護者対応の情報提供、新年度の登録児童の情報など)

(令和5) 年度 告 報 活 動 間 時 事 業 童 兒 ブ ラ ク 學 年 年

(安井) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア		その他	合計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生				
(1) 生活援助機能	通年													安全に帰宅させるため、初日から5時帰りの新入生を中心に自宅まで職員が引率。退館時には、常に集団帰宅の重要性を伝え落ちついた状態で帰宅できるよう職員全員での声掛けを実施。お誕生日会の司会やゲームの企画、終わりの会の進行、目標作り等。	
・生活についての全般的指導特に集団帰宅を重点指導														挨拶(言葉づかい含む)については、日常的に指導。特に1年生男子。1年生が年上の子に対する言葉遣いや態度についても指導。帰館後・トイレ後の手洗いやおやつ前の手洗い、消毒等が出来るようこまめに声掛け指導をおこなう。ハンカチはほぼ徹底できた。日常的に安全にロックナーを使えるように荷物の入れ方についても指導を実施。水筒の入れ方など、ケガ防止のため練り返し行なう。スリッパの整頓には他者を思いやる気持ちが含まれていることを理解させ定期的に指導。男子トイレの汚れについて指導を継続している。1年生は新学期当初自分の持ち物(宿題)の管理ができず混乱した。宿題は夏休みまで点検を実施。2学期からは「した/していない」の確認。毎週金曜日を館内一斉清掃日と定め、全員で清掃活動を実施。おもちゃの拭き掃除、整理整頓、棚の拭き掃除、玄関、外掃除など丁寧に掃除する姿が見られた。	
・当番活動の指導														挨拶(言葉づかい含む)については、日常的に指導。特に1年生男子。1年生が年上の子に対する言葉遣いや態度についても指導。帰館後・トイレ後の手洗いやおやつ前の手洗い、消毒等が出来るようこまめに声掛け指導をおこなう。ハンカチはほぼ徹底できた。日常的に安全にロックナーを使えるように荷物の入れ方についても指導を実施。水筒の入れ方など、ケガ防止のため練り返し行なう。スリッパの整頓には他者を思いやる気持ちが含まれていることを理解させ定期的に指導。男子トイレの汚れについて指導を継続している。1年生は新学期当初自分の持ち物(宿題)の管理ができず混乱した。宿題は夏休みまで点検を実施。2学期からは「した/していない」の確認。毎週金曜日を館内一斉清掃日と定め、全員で清掃活動を実施。おもちゃの拭き掃除、整理整頓、棚の拭き掃除、玄関、外掃除など丁寧に掃除する姿が見られた。	
・館内外でのあいさつの励行														挨拶(言葉づかい含む)については、日常的に指導。特に1年生男子。1年生が年上の子に対する言葉遣いや態度についても指導。帰館後・トイレ後の手洗いやおやつ前の手洗い、消毒等が出来るようこまめに声掛け指導をおこなう。ハンカチはほぼ徹底できた。日常的に安全にロックナーを使えるように荷物の入れ方についても指導を実施。水筒の入れ方など、ケガ防止のため練り返し行なう。スリッパの整頓には他者を思いやる気持ちが含まれていることを理解させ定期的に指導。男子トイレの汚れについて指導を継続している。1年生は新学期当初自分の持ち物(宿題)の管理ができず混乱した。宿題は夏休みまで点検を実施。2学期からは「した/していない」の確認。毎週金曜日を館内一斉清掃日と定め、全員で清掃活動を実施。おもちゃの拭き掃除、整理整頓、棚の拭き掃除、玄関、外掃除など丁寧に掃除する姿が見られた。	
・手洗いの徹底														挨拶(言葉づかい含む)については、日常的に指導。特に1年生男子。1年生が年上の子に対する言葉遣いや態度についても指導。帰館後・トイレ後の手洗いやおやつ前の手洗い、消毒等が出来るようこまめに声掛け指導をおこなう。ハンカチはほぼ徹底できた。日常的に安全にロックナーを使えるように荷物の入れ方についても指導を実施。水筒の入れ方など、ケガ防止のため練り返し行なう。スリッパの整頓には他者を思いやる気持ちが含まれていることを理解させ定期的に指導。男子トイレの汚れについて指導を継続している。1年生は新学期当初自分の持ち物(宿題)の管理ができず混乱した。宿題は夏休みまで点検を実施。2学期からは「した/していない」の確認。毎週金曜日を館内一斉清掃日と定め、全員で清掃活動を実施。おもちゃの拭き掃除、整理整頓、棚の拭き掃除、玄関、外掃除など丁寧に掃除する姿が見られた。	
・持ち物の整理整頓														挨拶(言葉づかい含む)については、日常的に指導。特に1年生男子。1年生が年上の子に対する言葉遣いや態度についても指導。帰館後・トイレ後の手洗いやおやつ前の手洗い、消毒等が出来るようこまめに声掛け指導をおこなう。ハンカチはほぼ徹底できた。日常的に安全にロックナーを使えるように荷物の入れ方についても指導を実施。水筒の入れ方など、ケガ防止のため練り返し行なう。スリッパの整頓には他者を思いやる気持ちが含まれていることを理解させ定期的に指導。男子トイレの汚れについて指導を継続している。1年生は新学期当初自分の持ち物(宿題)の管理ができず混乱した。宿題は夏休みまで点検を実施。2学期からは「した/していない」の確認。毎週金曜日を館内一斉清掃日と定め、全員で清掃活動を実施。おもちゃの拭き掃除、整理整頓、棚の拭き掃除、玄関、外掃除など丁寧に掃除する姿が見られた。	
・トイレの使い方指導														挨拶(言葉づかい含む)については、日常的に指導。特に1年生男子。1年生が年上の子に対する言葉遣いや態度についても指導。帰館後・トイレ後の手洗いやおやつ前の手洗い、消毒等が出来るようこまめに声掛け指導をおこなう。ハンカチはほぼ徹底できた。日常的に安全にロックナーを使えるように荷物の入れ方についても指導を実施。水筒の入れ方など、ケガ防止のため練り返し行なう。スリッパの整頓には他者を思いやる気持ちが含まれていることを理解させ定期的に指導。男子トイレの汚れについて指導を継続している。1年生は新学期当初自分の持ち物(宿題)の管理ができず混乱した。宿題は夏休みまで点検を実施。2学期からは「した/していない」の確認。毎週金曜日を館内一斉清掃日と定め、全員で清掃活動を実施。おもちゃの拭き掃除、整理整頓、棚の拭き掃除、玄関、外掃除など丁寧に掃除する姿が見られた。	
・宿題の習慣づけ														挨拶(言葉づかい含む)については、日常的に指導。特に1年生男子。1年生が年上の子に対する言葉遣いや態度についても指導。帰館後・トイレ後の手洗いやおやつ前の手洗い、消毒等が出来るようこまめに声掛け指導をおこなう。ハンカチはほぼ徹底できた。日常的に安全にロックナーを使えるように荷物の入れ方についても指導を実施。水筒の入れ方など、ケガ防止のため練り返し行なう。スリッパの整頓には他者を思いやる気持ちが含まれていることを理解させ定期的に指導。男子トイレの汚れについて指導を継続している。1年生は新学期当初自分の持ち物(宿題)の管理ができず混乱した。宿題は夏休みまで点検を実施。2学期からは「した/していない」の確認。毎週金曜日を館内一斉清掃日と定め、全員で清掃活動を実施。おもちゃの拭き掃除、整理整頓、棚の拭き掃除、玄関、外掃除など丁寧に掃除する姿が見られた。	
・清掃活動														挨拶(言葉づかい含む)については、日常的に指導。特に1年生男子。1年生が年上の子に対する言葉遣いや態度についても指導。帰館後・トイレ後の手洗いやおやつ前の手洗い、消毒等が出来るようこまめに声掛け指導をおこなう。ハンカチはほぼ徹底できた。日常的に安全にロックナーを使えるように荷物の入れ方についても指導を実施。水筒の入れ方など、ケガ防止のため練り返し行なう。スリッパの整頓には他者を思いやる気持ちが含まれていることを理解させ定期的に指導。男子トイレの汚れについて指導を継続している。1年生は新学期当初自分の持ち物(宿題)の管理ができず混乱した。宿題は夏休みまで点検を実施。2学期からは「した/していない」の確認。毎週金曜日を館内一斉清掃日と定め、全員で清掃活動を実施。おもちゃの拭き掃除、整理整頓、棚の拭き掃除、玄関、外掃除など丁寧に掃除する姿が見られた。	
(2) 子どもの育成機能	2	40	25	19	2							3	89	小学校の代休日に徒歩で公園へ行く。6/5三反田公園10/10千石荘公園	
・館外での活動														夏の遠足「篠山チルドレンズミュージアム」バス2台。8/10 縦割りの班分けをしてグループ行動をする。	
・夏の遠足		21	18	15	12	1	1	2	3			3	76	3年生の司会進行により実施。 将来の夢等発表、館長の講話、みんなで楽しめるレクレーションの実施。	
・毎月の「お誕生日会」		316	170	136	33	4	1	1				661		おやつ作り（カップケーキ）、クルクルレインボーを実施。	
・手作り活動		49	27	32	15	2	2					127		はねつき・だるまおとし・コマ・福笑い・百人一首大会を実施。 お正月あそび、百人一首大会は同日に実施。1/5	
・新年お楽しみ会		29	26	10	6							72		セレモニー、館長講話と職員紹介、上級生によるけん玉披露等の紹介、 レクレーション。4/10	
・入会のつどい		40	21	19	9	1						40		セレモニー（修了証書授与、3年生の作文朗読、記念品贈呈、手話等）	
・修了式		18	10	10	1							5		職員による読み聞かせを日常的におやつ前に実施。 毎週、栗山先生による大型絵本。	
・読み聞かせ														夏休み期間中、毎日ラジオ体操第1・2を実施。	
・ラジオ体操														朝の学習、読書等を毎日実施。静かに学習して過ごす時間として定着。	
(3) 子育て支援機能	- 通年												74	体育館にて「転がしドッジボール」を1～6年で楽しむ。 良い交流の機会となった。11/7	
・長期休業中の放課後まなび教室との交流行事		20	15	9	2			26				2	435	(火事対応)4/11、5/26、6/5、8/24、9/6、11/20、1/9、3/21 (大雨・水害) 10/26 (不審者) 7/24、2/1 (地震) 12/22	
・避難訓練		196	114	79	27	1	1					17		感染症対策のため中止。 各列でおやつの片づけと役割を決め、自分たちで実施。	
・交通安全教室														日直に他の3年生が協力して本やトイレのスリッパの確認をする。	
・班会議														毎日4時40分から当番制で3年生が司会を行い一日の振り返りを全員で実施。 「良いところ見つけ」を行う。子どもだけでなく職員も話したことは効果的だった。	
・終わりの会の司会														7月(1年生対象)と1月に開催。7月は子どもの生活状況の報告と夏休みの過ごし方の説明。1月は館の様子のスライドショーを行う。	
・保護者会		2										66	66	ICT化2年目。新入生と2年生以上で時間を分けて行なう。	
・入会説明会		1										77		アプリの使用方法と入会のしおりの変更点を伝える。	
・学童クラブだより発行		12												月毎に発行。子どもたちの生活の様子、活動、成長、お願い等を伝える。	
・QRコードの活用（連絡袋）														保護者への重要な連絡は電話を利用した。	
・小学校集団下校への参加														保護者からはアプリや電話で連絡が入った。	
														学校の依頼を受け、町別集団下校の日に協力する。	

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること

*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること